

札幌市議会議員
豊平区

小竹ともこ

やさしさで情熱を市政に



小竹ともこプロフィール

- ・札幌市立月寒小・中学校・札幌月寒高校、北海道武蔵女子短期大学卒業。
- ・STVラジオ「ランラン号」キャスタードライバー、旅行添乗員の後、結婚。
(株)小竹金物店取締役。(一女三男の母親)
- ・北海道札幌月寒高校PTA会長、北海道高等学校キャリア教育推進協議委員、石狩管内教育実践奨励表彰受賞
- ・北海道札幌月寒高等学校評議員
- ・北海道札幌月寒高等学校同窓会副幹事長
- ・2011年 札幌市議会初当選後、経済常任委員会副委員長、厚生常任委員、建設常任委員会副委員長など。
- ・現在 文教常任委員、さっぽろ自民党組織副委員長、北海道札幌真栄高等学校PTA会長、豊平区ママさんソフトボール連盟顧問、月寒忠霊塔奉賛会顧問、札幌市議会カーリング支援議員協議会メンバーなど。

▶平成20年度全国高等学校PTA連合大会愛知大会「夢あり、人あり、地域あり」提言者として発表
名古屋ガイシホールにて



【活動報告】は
ブログやホームページでも
ご覧いただけます!

小竹ともこ

検索

みなさまの声を聞かせください

小竹ともこ 政務調査室

札幌市豊平区月寒中央通6丁目3-28

TEL (011) 851-1300

FAX (011) 851-1360

メールアドレス kotake-tomoko@parl.biz



ごあいさつ



やさしさで情熱を市政に

豊平区の皆さま、こんにちは。

平成23年の初当選より、皆さま方には温かいご支援とご理解をいただき心より感謝申し上げます。市議会議員として任期最後のは引き続き「教育プロジェクト」メンバーとして、私が市議会を指すきっかけとなった「教育問題」として向き合う一年にしたいと考えております。山積する市政の課題に誠心誠意、一つひとつあたり、皆さまの代弁者としての役割を果たしていくためにも、今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

札幌市議会議員 小竹ともこ



私たちの豊平区

小竹ともこ 活動目誌



第10回日本車椅子カーリング選手権大会
閉会式でプレゼンターをつとめる。



つきさっぷ雪中大運動会
“子どもたちの笑顔のために”
地域で、若者とともに



子育てサロン(美園湯)
地域の方々が主体で運営されています。お母さんも子どもたちも笑顔があふれていました。



月寒公園利用・管理運営検討会議
月寒公園の再整備工事後の公園の活用について熱い討論が続いています。



商店街青年部の皆さんと意見交換・交流
美園湯番台でご挨拶

札幌市・豊平区の

「街づくり」「人づくり」 「地域の魅力づくり」に 取り組みます!



TOMOKO'Sコラムその1

札幌コンテンツ特区

平成23年12月に

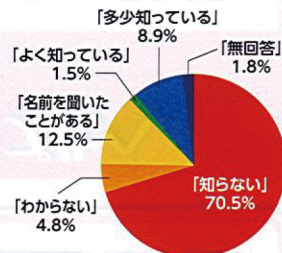
「札幌を東アジアの映像の拠点に!」と内閣総理大臣より指定を受けた

日本で初! 唯一の「札幌コンテンツ特区(特別区域)」札幌市～北海道の地域活性化の起爆剤となり、観光、雇用など経済、産業への波及効果は計り知れないこの特区事業について、特別委員会では民間の映像事業者側からの観点で質疑に立ちました。事業者側からの大きな期待とは裏腹に、撮影環境の整備～許認可窓口の一元化、制度が飛躍的に改善されてはならず、「熱意」「本気度」「スピード感」など市と民間事業との大きな隔たりを指摘しました。

特区事業推進のため為すべきことは何か。

今後は業者側との意見交換を密にすること、市の関係部局の職員に対する意識づけなど、全庁一丸、官民一体となつての取組の強化を強く求め、これからも注視してまいります。

※コンテンツとは、映画や音楽・ゲームなど、「映像・音声・文字などを使って表現される創作物」のことを意味します。



「札幌コンテンツ特区を知っていますか?」



商店街みらい会議

平成25年度新規事業「商店街地域連携促進事業」。

特別委員会において事業の狙い・進め方、コーディネーターの役割も含め、商店街にとって実効性、有益性の高いものであるべきと指摘しました。「商店街みらい会議」では商店街だけでなく、地域の方や学生、団体、NPO、企業など、組織や枠組を超えた対話の中から商店街や地域を元気にするアイデアや企画が披露されました。



石山商店街理事
月高同窓会の先輩でもある古内一枝さんと



地域と商店街活性化のため自由な雰囲気の中で意見交換

TOMOKO'Sコラムその2

市議会 報告

平成26年
第1回定例市議会



小竹ともこ 市政活動報告



ウィンタースポーツにおける ジュニアの育成について

札幌からオリンピック代表選手を!

将来、冬季オリンピック・パラリンピックが札幌で開催されることを見据えてトップアスリートの育成=ジュニア選手の強化、そのための環境整備は重要課題です。ウィンタースポーツ都市としての魅力を世界に発信していくためにも、民間企業の支援、協力、また札幌市東京事務所を活用等を強く求めました。



▲札幌ジャンプ少年団のHPより

福祉のまち推進事業の 活性化について

区の保健福祉部と保健師のチームが、社会福祉協議会やまちづくりセンター、民生委員、児童委員など地域の関係機関とのネットワークを強化し、事業への取り組みを支援する「福まちパワーアップ事業」は平成26年度からは10区10地区で展開されます。地域課題を把握するため、先行モデル地区の一つ、西区西町の福まちの視察を自ラ行い、地域の力を引き出すためにも、保健師の役割が重要と指摘。地域と深く関わり「顔の見える関係づくり」に努めること、市のバックアップ等は不可欠と指摘しました。



地域施策の充実について ～市長が唱える“市民自治”を問う～

地域の貴重な歴史を伝える資料が収蔵されている郷土資料館、地域の方々利用される会館・集会所は町内会の有志の方々によって管理・運営されているものも多くあります。代表質問では高齢化、財政面や後継者不足という厳しい状況に対する市の認識不足を質しました。“市民自治”の名のもと、担い手の方々の“負担感”に積極的に寄り添う市政がみられないことは非常に残念です。



国民健康保険の保険証の カード化について

これまでの代表質問や特別委員会において、私からのカード化に関する質問に対し市は平成26年度中の完成を目指すとの答弁でありました。しかし26年第一回定例市議会において、システム構築の遅れによりさらに1年送りとなることが明らかにされました。政令市20市中、カード化されていないのは札幌市だけという現状を強く訴えるとともに、引き続き、市民の利便性向上のため国保保険証のカード化の早期実現を求めています。



うらうちない川など 河川環境整備について

札幌市では、自然・人・まちと川との関係を考えた「札幌らしい川づくり」を推進しています。豊平区では平成27年春の供用開始を目指し、福住地区のうらうちない川で、環境整備計画が進められています。これまで4回実施したワークショップでの地元住民や河川で遊ぶ子どもたちの意見を活かし、魚が遡上できるような魚道の整備など、地域の皆さんがわが街のわが川という思いを実現するために地域と協働の河川整備であるべきと考えます。



▲うらうちない川を視察

路面電車(市電)ループ化へ 山積する課題

軌道事業の赤字体質改善のために、柔軟な事業展開と効率的な運行、利用者サービスの向上を図ることは重要であり、新たな運送事業者は、公共交通に民間的な経営手法を最大限に取り入れることができる事業者であるべきと指摘。市長からこれらを両立できる「上下分離方式」の経営形態を採用する予定である旨答弁を引き出しました。今後ループ化事業案に対して自民党市民会議が反対してきた経緯も踏まえ、議論を重ねてまいります。



視察 報告



秋田

《地域住民用小規模堆雪場事業》

「自分で除雪したいが寄せる場所がない」という市民の要望に応じて、住宅地内の空き地を地域住民用堆積場として町内会・自治会に無償で貸付けしてくれた土地所有者に対して、その土地の固定資産税の一部を減免する事業。



《除雪車両運行管理システム》

- ◎徐排雪車両にGPS端末(スマートフォン等)を設置し、現在位置、作業履歴をインターネット上で公開
- ◎徐排雪車両の作業時間の集計、作業日報等の運行管理を実施



▶作業履歴を可視化、タブレットで確認

埼玉

リーマンショック以降、就労可能な「その他世帯」が急増しています。生活保護受給者に対する総合的な自立支援の取り組み(アスポーツ事業)を視察

- 教育 → 生活保護世帯の子どもたちの、高校進学に向けた支援として、地域の学習教室で個別に勉強を教えます。
- 就労 → 適正に応じた職業訓練の受講から再就職まで一貫した支援を行います。
- 住宅 → 無料低額宿泊所から、民間アパートや社会福祉施設などへの入居を支援します。



▲生活保護に関して積極的に質問

